

ISO/ITSIG (INFORMATION TECHNOLOGY STRATEGIES IMPLEMENTATION GROUP)

Adhoc Discussion 報告

2004-12-02, at ISO Office in Voie Creuse, Geneva

参加者:

Mr. Daniele Grundino (Strategic Adviser to the Secretary-General)

Mr. Rinta-Filppula (ISO/CS IT Director)

Ms. J. Goodwin (head of the ISO/CS standards production unit)

Mr. Vesa Sivunen (design and support of IT services for standards production)

Dr. Y. Komachi (ITSIG/XML project)

0. Opening 2:00 pm

(Items 1 though 4: Komachi's presentation)

1. Background of Today's discussion

2. Presentation of an available tool

3. Resolution of the last ITSIG plenary

4. Related activities

5. Discussion

5.1 Clarification on the action items for XML project

- Two-step promotion

Step1: JTC1 の XML に関心のある人を対象にする。

Step2: JTC1 以外に対象を広げる。

- これらの利用者に対してXMLをどう使うか(どのようにしてXMLテキストを作り, どのようにしてスタイルシートによってレンダリングするか)の guide を作る。

- 処理系は特定しない。例として説明に使う。

- Two-step promotion の Step1 のさらに導入として, Gerundino さんの次の提案(単なる私案)を使う。

"adapted" ISO STD template (associating selected XML-tagged elements) to support the JTC1 request for automating the extraction of document sections associated to ISONET data elements (such as abstract, scope, table of contents, normative references).

これは, JTC1/SC34 Secretariat が使っている XML fragment に類似している。

- "adapted" ISO STD template の導入について, Gerundino さんが, JTC1 の Frank France さんに連絡を取ってみる。

- 現在, JTC1以外はすべてWordでsubmitされるが, JTC1は多くのフォーマット(Word, RTF, PDF, SGML, HTML, TeX)が使われており, JTC1こそXMLに移行できれば, ISO/CSとしてhappyである。

5.1 Target and schedule of XML activity in ITSIG

- XML promotion については, 明確な mile-stone を設定しない。(MS-Word を導入したときも同様であった。)
- Tool 類の普及を考慮しながら進める。
- ISO ワークフローは, Goodwin さんから提供を受けた(図 1)。Database(LiveLink)はそこには含めていない。

5.3 Responding to the user requirements

- Project editor 用の簡素版 DTD は必要である。簡素版 DTD から 9573-11 の full-DTD への conversion も必要。
(5.1 の作業と平行して進める。)
- 現 9573-11 には, Cor., Amd. の DTD がない。
Cor., Amd. をマージして, 最新のフルテキストを表示することも考えたい。
(TC34?が, terminology の DTD を作っているので参照するとよい。)
- 上記 DTD(スキーマ), 5.1 の作業に伴う guide も, 9573-11 の Annex にする必要がある。

5.4 etc

- これらの活動の中で着手できたものを, 次の ITSIG Plenary で小町から報告すること。
- その報告に対する参加者の動向を見ながら次の段階の修正を行う。

6. Other business

- 後藤さんからの確認事項の議論。
(確認の結果は email で通知済み。)

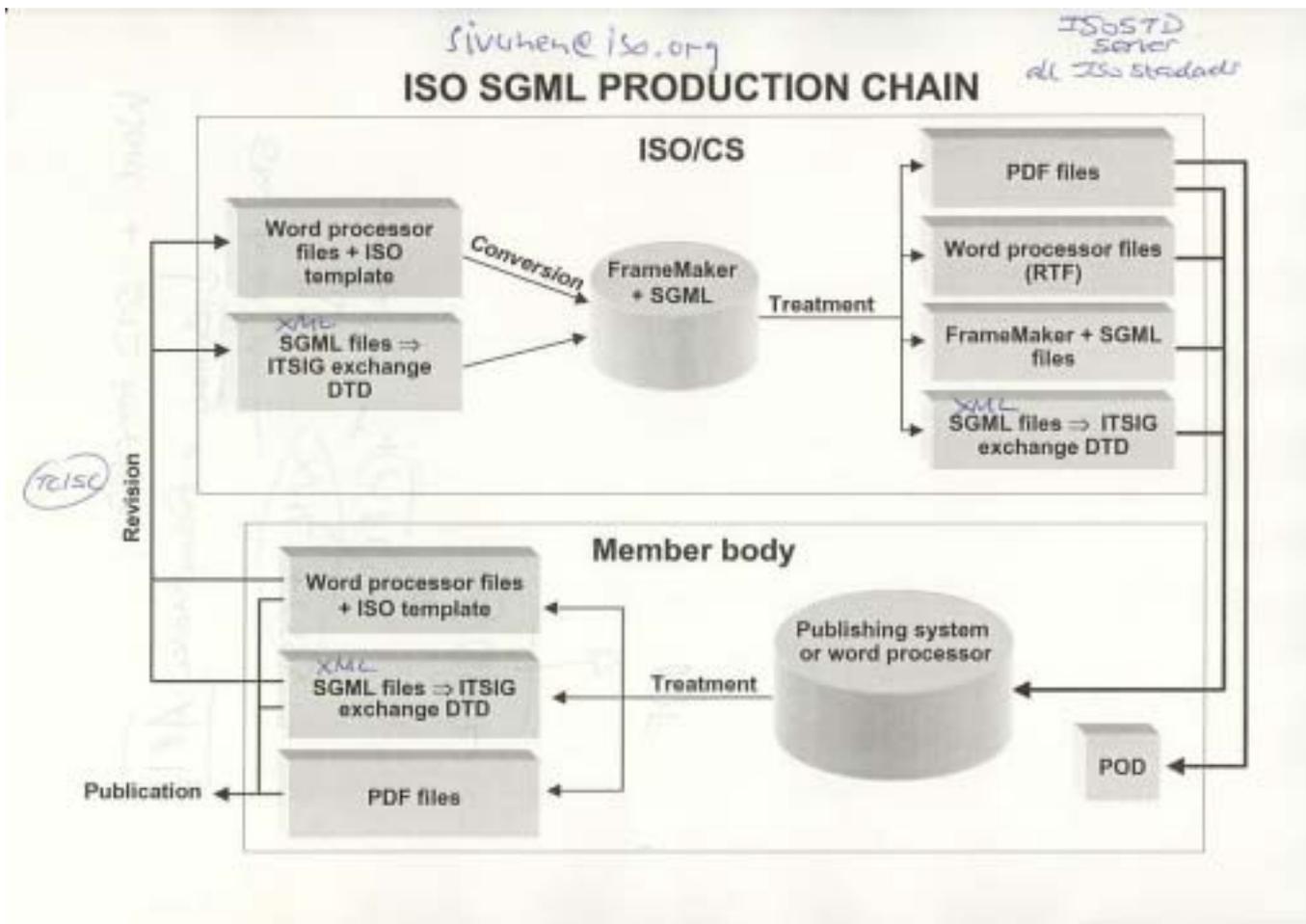


図1 ISO ワークフロー